

地域連携型メディアデザイン教育プロジェクト

学生団体名 地域連携型メディアデザイン教育プロジェクト（金沢学院大学）

参加学生 松島幸太郎・藪下聡・金谷美咲・石川貴章・長手明日美 他 25 名

1. 地域活動の概要

高齢化または空洞化の進んだ地域に対してデザインの力で活力を与えることを活動の目的として、金沢市内および近隣地域の商店街・企業・第三セクター団体等からのチラシ・ポスター・CM等の制作依頼を受け学生団体としてサポートした。その中で、学生目線の意見を求められることも多々あり、例えば、商品開発や地域活性化のための意見など、町興しや賑わい創出の参考にして頂いた。自分たちも、この活動をとおして、日ごろの学習を実践的に応用することができた。

2. 地域活動の具体的な内容（事例紹介）

- ・実施日時 10月10日～11月13日
- ・実施内容 石川県森林公園内「森のレストラン」
メニューブックのリニューアル
- ・参加者数 学生4名/地域の方1名、
- ・学生の実施した活動・役割・地域住民・地域団体が実施した活動



地域の方と、大学にて数回の打ち合わせのうえ、デザインの方向性を決定した。また、学生チームも、実際に「森のレストラン」へ取材（レストラン内部および料理の撮影）に行き、デザイン案を繰り返し検討しメニューブックを仕上げた。現在、レストランにて実際に使用頂いている。

※ その他、森本商店街チラシ制作、尾張町旗屋 CM 制作、香林坊アトリオ CM 制作 等々

3. 地域活動の評価

当初は、学生に何ができるのだろうかという懐疑心を持たれることもあったが、実際の作業をとおして、クオリティと情熱を理解頂き、各地域の依頼者からも高評価を頂いた。活動方法については改善の余地はあるものの、地域貢献としては十分の成果が有られた。同時に、メディアデザイン教育の観点からも大学での学びを実社会で生かすことができ大変良い刺激となった。

4. 今後、この地域活動を継続、活発にしていくために必要なもの、および課題

取り組みの周知方法に関して、地域とのネットワーク作りの重要性を感じた。現在、Web を使った情報発信を展開しつつある。その他、日中は大学の授業の関係で地域の方とお会いするタイミングが放課後といった遅い時間での打ち合わせが多くなってしまい、そのことを残念に思われたクライアントがいた。今後工夫していきたい。

5. 学生の感想

地域や企業の方々と実際にやり取りをすることで、授業では学ぶことが出来ないビジネスマナー、言葉遣い、メールの書き方等も勉強になった。制作したものは実際に使用されるものであったので、モチベーションの向上や遣り甲斐、そして責任感を持って制作できた。自分達の自信にも繋がった。

6. 地域からの評価

評価はとても高く、学生の若い感性や取組み姿勢に好感を持って頂いた。複数の学生が一つのチームとして取り組むため、デザイン案も学生の数だけ用意されることや、学生が消費者の立場になって制作することで、新しい目線も発見でき、そのことが地域にフィードバックされた。地域の方々が想像していたクオリティを超えたものを提供でき、何度も依頼の声をかけてくれる方もいた。